

令和元年度寒川町子ども・子育て支援事業計画進行管理に対する
質問・意見と回答

ページ	事業名	質問・意見内容	町からの回答
8	5. 一時保育事業（保育園） <保育・青少年課>	当該事業の令和元年度の達成率が、13.9%と低率となっているが、今後の方策について伺いたい。	保育所等の定員に満たない余裕のあるところで実施している余裕活用型であるため、受け入れ可能な児童数に限りががあります。 一時預かり事業を実施していない施設もあるため、事業拡大を促進していきます。
9 14 42	6. 子育て支援センター事業 11. 養育支援訪問事業 47. 乳児家庭全戸訪問事業 <子育て支援課>	コロナ禍の中、自粛生活を求められるなど、母子同士の交流やふれあいの機会が、減少していると思われる。 子育て環境の孤立化等を防止するためにも、今後も、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、子育て支援センター事業等の事業を実施して、しっかり支援していただきたい。	「子育て支援センターのフリースペース」を開放するにあたっては、国や県の方針に従い、一定の利用制限を設けた上で再開しています。 また、交通の事情等で、「子育て支援センター」に來れない親子のために、町内4カ所で「巡回ひろば」として出向いています。こちらも、同様に利用制限を設け実施しています。 養育支援訪問や乳児家庭全戸訪問事業については、マスクやフェイスシールドの利用や消毒など、今後も注意を払いながら事業を実施してまいります。 今後も、国や県の方針に従いながら、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、各事業を行ってまいります。
40	45. 母子健康診査事業 <子育て支援課>	新型コロナウイルス感染拡大の中で、乳幼児健診を安全に実施することは、とても大変なことと思うが、検温・消毒の実施、スタッフは、感染防止対策をしっかりととりながら、きめ細かな対応で実施されており、評価したい。（スタッフとして、事業に参加させていだいた感想）	緊急事態宣言中の住民からの声で、健診を安全に受けたいというご希望をいただき、受付時間を分散させることや、待合の区画を作り来所親子同士の適切な間隔を保つこと、換気の徹底、職員のマスクとフェイスシールド着用等の対応をはかり、対象の方々の感染予防を図り、今後も気を緩めず、安心して来所していただける健康診査や相談事業を実施してまいります。

ページ	事業名	質問・意見内容	町からの回答
43	48. 食育教室 ＜子育て支援課＞	<p>参加者は、実母に限っていますか。実父や祖父母、その他該当乳児の育ちを支える大人の参加や参加希望の状況はどのようになっていますか。</p> <p>母子保健の本質は、胎児と妊産婦・産褥期の支援だと考えます。項目9 第2期との関連性・方向性の欄に、「母親の調理技術」に特化した記載がありますが、離乳食は、母親の手作りであるもの、という姿勢を行政が持つべきではないと考えます。</p> <p>男女共同参画や男性の育児休業も推進されている社会状況を鑑み、ぜひ、母親へのアプローチに固定せず、「乳児の健やかな育ちに必要離乳の進め方」という視点でこの事業を進めていかれるようご検討をよろしくお願いいたします。</p>	<p>対象月齢の赤ちゃんの保護者を対象としており、令和元年度では、実父3人の参加がありました。その他該当乳児の育ちを支える大人に参加は、令和元年度はありませんでしたが、過去には祖母の参加がありました。</p> <p>「離乳食が母親の手作りであるもの」という限定的な認識は持っておりませんが、誤解を招く表現だと思いますので、修正します。実際の離乳食講習会ではベビーフードの紹介も実施しています。</p> <p>離乳食講習会の対象者は、対象月齢の保護者としており、母親に限定してアプローチをしているものではございません。</p>
49	54. 「生きる力」の育成事業（小学校・中学校） ＜学校教育課＞	<p>93 特別支援教育推進事業（小学校・中学校）にあるように、特別支援学級において障がい児へ個々の力を伸ばす学習支援については感謝をいたしますが、通常級の中における「支援の必要な子」への対応はいかがでしょうか。</p> <p>クラス担任を受け持っている教員の方の多忙さは計り知れない上、コロナウイルス感染防止対策等で教員の皆様が疲弊しないよう、ふれあい支援員の増員やスクールサポーターのシステム作りの必要性のご検討を。</p> <p>また、感染防止対策をしっかりとした上で、学校内で感染者やクラスターが出てしまっても、学校側や先生方を責めることがないよう、保護者・家庭の理解を促す事も必要と考えます。</p>	<p>通常学級における支援の必要な児童・生徒については、小学校各校に1～2名をふれあい教育支援員として配置し、低学年の児童へのサポートを基本に支援に当たっています。また、本町独自で小学校3年生まで少人数学級を編成できるよう人員を配置しています。</p> <p>その他においても、担任・学年職員・教育相談コーディネーターを中心として、日々の学校生活の中で各学年、学級の児童・生徒の教育的ニーズを把握できるよう努めています。その情報は校内支援会議（学校により名称は異なる）等で共有され、全校体制でサポートできるよう努めています。ただ、より多くの人的配置により丁寧な支援体制が構築できることは承知しているところですので、今後も継続して検討していくところです。</p>

ページ	事業名	質問・意見内容	町からの回答
			<p>(続き) また、新型コロナウイルス感染症を起因とした誹謗中傷等がないようにとのことについて、これまで教育委員会としても学校再開に向けたガイドラインを始め、様々な場面を捉えて、児童・生徒、保護者に新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を基にした指導・啓発を各校において実施し、理解を求めているところです。感染の終息が見えない現状において、これまでの活動を継続していくところです。</p>
68	<p>78. 放課後子ども総合プラン推進事業</p> <p><保育・青少年課></p>	<p>2019年度の「放課後子ども総合プラン運営委員会」の開催状況や、関係各所での意見交換等の進捗状況について教えてください。</p> <p>特に、推進するためには学校施設の活用が必至である点について、学校教育課等からの積極的な提案が望めるものかどうかを知りたいと思っています。</p>	<p>2019年度の「放課後子ども総合プラン運営委員会」の開催状況については、「寒川町放課後子ども総合プラン運営委員会での経過を踏まえた、令和元年度の状況及び今後の方向」等について、新型コロナウイルス感染症の拡大による対策のため、書面による会議を、令和2年3月に行いました。関係各所となる、児童クラブを運営する「学童保育会」及び「さむかわふれあい塾連絡会」については、意見交換する機会が設けられませんでした。</p> <p>学校施設の活用については、寒川町放課後子ども総合プラン運営委員会の委員に、学校教育課職員及び学校関係者が入っていることから、積極的な提案につながるような議論や検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
72	<p>83. 児童虐待防止のネットワーク事業</p> <p><子育て支援課></p>	<p>「関係機関との連携」というのは、関係機関には児童相談所や学校などがあるのかと思うが、どのような機関と連携しているのか。</p> <p>「町が把握していないケース」から最悪の結果に至らない為「地域での協力体制を更に充実」とあるが、具体的にどのような体制をどのような方法で充実させていくのか?</p>	<p>関係機関は、児童相談所や学校のほか、福祉事務所、警察、幼稚園、保育園、民生委員、主任児童委員、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、教育委員会等となっております。</p> <p>町では、妊娠届出時、出生時、転入時等何らかの手続きの際に子育て支援課へ、お立ち寄りいただいておりますが、住民票を移さず</p>

			<p>(続き) 町内で生活されているようなケースは、町で対象者を把握することができません。</p> <p>このようなケースは、町職員が気づくことは大変困難で、近隣にお住いの方からの通報等で認識をすることが多いため、民生委員や主任児童委員との連携を継続的に図っているところです。</p> <p>また、「189」^{いちやく}児童相談所虐待ダイヤルの普及を図り、誰もが、気になる子どもがいた場合、相談をためらわないよう啓蒙していくことも重要と考えております。</p>
--	--	--	---